

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 南牧村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.50	2,200	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,427	118.83	12.01
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,406	24.30	57.86

グラフ凡例

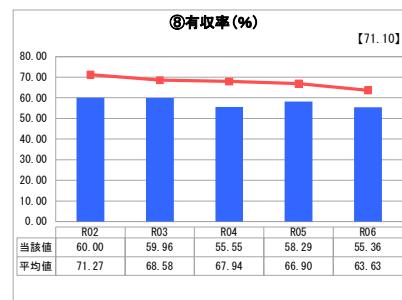
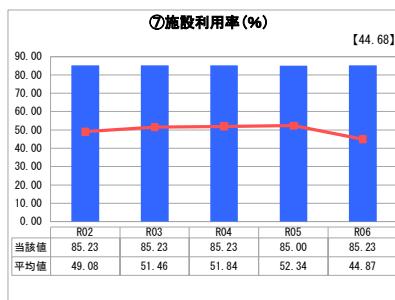
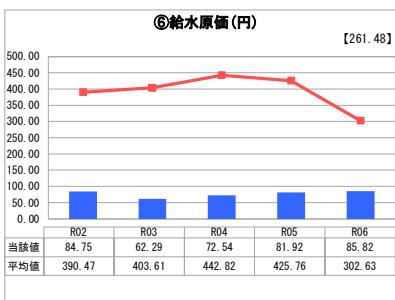
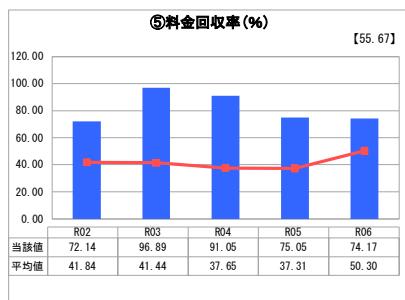
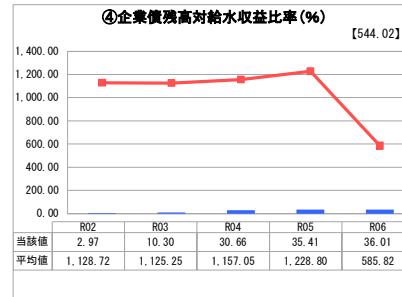
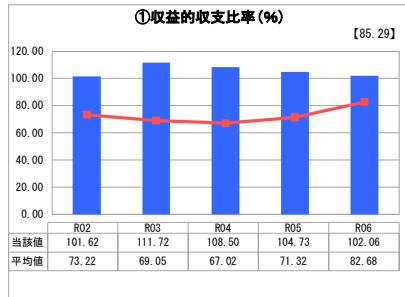
- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和6年度全国平均

分析欄

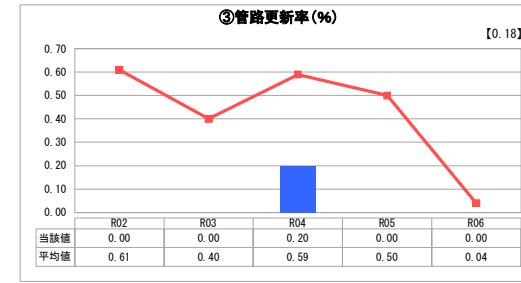
1. 経営の健全性・効率性について

- (1) ①前年度より収益の収支は増加、収支比率は減少したが100%を上回った。上昇するよう努めた。
 (2) ②他の類似団体と比べると大幅に低くなっている。その原因として施設設備の更新の先送りなどが考えられる。
 (3) ③前年度より供給単価及び給水原価は増加したが回収率は減少した。回収率の向上に努めたい。
 (4) ④近年は類似団体と比較しても低い比率となっており今後の更新等で比率が上がることも考えられる。
 (5) ⑤類似団体が約50%に対して、約85%を保っている。今後この比率が下がらないよう管理していく必要がある。
 (6) ⑥類似団体に比べ、低い有収率となっている。有収率の高さのために漏水対策などに努めた。
 (7) ⑦南牧村では今後、施設の老朽化等により施設の更新が必要となる箇所が多くなってくる。そのため今後は給水に係る費用の削減や、料金回収の比率が現在の比率より高くなるような取り組みが必要になってくる。
 (8) ⑧上記⑧の有収率が類似団体平均より低くなっている主な原因として漏水が考えられる。施設の老朽化による漏水及び冬期の凍結による水道管の破裂などが考えられる。
 今後、有収率を上げるために施設の更新や適正な施設管理に取り組んでいくことが重要である。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



2. 老朽化の状況について

- (3) 管路更新率
 (1) 異常が見受けられる管路の修繕や水道管の接続による水道管の布設を行っている。
 (2) すべての施設が老朽化してきているため、施設、管路の状況や現状(経年数)を把握し、施設の管理運営を行なながら、計画的に管路等の更新を行なう必要性がある。

全体総括

- (1) 日々の巡回において、施設の状況把握をして維持管理に努めるとともに、異常箇所等の早期発見に努める。
 (2) 施設、管路の老朽化については、経年数や現在の状況を把握し、必要な箇所から順を追って更新できるよう更新計画の作成に努めたい。
 (3) 施設設備については、点検・修繕等を計画的に行い実施。計画的に行うことにより費用の削減にも繋がることが考えられる。
 (4) 冬期の漏水対策については、管に保温材などを使用しているが、気温がより低下する地域についてはより一層の対策を行いたい。また家庭の水道に関しては、村の告知放送やテレビなどを活用して、凍結・漏水対策などの周知の強化に努めていきたい。